

5 建築士試験受験資格要件

下記の2学科は、卒業後一級建築士試験、二級建築士試験及び木造建築士試験の受験資格が得られます。ただし、『建築士法等の一部を改正する法律（平成18年法律第114号）』の施行にともない、受験資格要件のうち学歴要件については、「建築又は土木に関する課程を修めて卒業」することから、「国土交通大臣の指定する建築に関する科目（以下「指定科目」という。）を修めて卒業」することとなりました。ついては、平成21年度入学生より、受験資格を得る為の要件が卒業とともに指定の科目を修得することになっていますので、下記の内容を熟読の上、卒業要件単位を修得するとともに、不足がないように必要な科目を履修し、単位を修得してください。

1. 建築士試験受験資格対象の学科と必要な建築実務の経験年数

学科名（コース名）	一級建築士試験	二級建築士試験・木造建築士試験
建築学科	2年	0年
デザイン学科（空間デザインコース）	—（注）	0年

注）二級建築士資格を取得後、受験が可能です。試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務の経験が4年以上あれば一級建築士として登録することが可能となります。

2. 受験資格要件・指定科目

次表3.「建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数」を参照してください。

「一級建築士試験」「二級建築士試験」「木造建築士試験」別に指定科目の分類と単位数が異なります。必修科目と必修科目以外の選択科目との合計単位数により必要な実務経験の年数が異なります。本学では、「一級建築士試験」では最短2年、「二級建築士試験」「木造建築士試験」では最短0年（実務経験不要。卒業と同時に受験資格を得ること）と指定されています。ただし、指定された科目ならびに必要な単位数をすべて満たすことが条件です。例え、合計単位数を満たしても指定科目の単位数が不足している場合、要件は満たせません。

「一級建築士試験」において、最短の実務経験2年で受験しようとした場合、9つの各分野の単位数を満たし、かつ選択科目に設定された科目単位数を加えた計60単位が必要となります。同様に実務経験3年の場合は50単位、4年の場合は40単位が必要です。

大学卒業直後から実務経験を経なくても一級建築士試験を受験可能です。試験に合格したうえで、大学卒業後の建築実務の経験が2年以上あれば一級建築士として登録が可能となります。

「二級建築士試験」「木造建築士試験」では、最短の実務経験年数0年で受験しようとした場合、5つの分野の単位数を満たし、かつ選択科目に設定された科目単位数を加えた計40単位が必要となります。同様に実務経験1年の場合は30単位、2年の場合は20単位が必要です。対象の2学科の受験資格要件を満たす為の指定科目及び必要単位数は別表1のとおりです。

3. 建築士試験別、指定科目に係る必要単位数と必要な建築実務の経験年数

指 定 科 目		一級建築士試験			二級建築士試験・木造建築士試験		
必 修 科 目 の 分 類	① 建築設計製図	7 単位	7 単位	7 単位	3 単位	3 単位	3 単位
	② 建築計画	7 単位	7 単位	7 単位	2 単位	2 単位	2 単位
	③ 建築環境工学	2 単位	2 単位	2 単位			
	④ 建築設備	2 単位	2 単位	2 単位			
	⑤ 構造力学	4 単位	4 単位	4 単位	3 単位	3 単位	3 単位
	⑥ 建築一般構造	3 単位	3 単位	3 単位			
	⑦ 建築材料	2 単位	2 単位	2 単位			
	⑧ 建築生産	2 単位	2 単位	2 単位	1 単位	1 単位	1 単位
	⑨ 建築法規	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位	1 単位
必修科目の総単位数 (a)		30 単位	30 単位	30 単位	10 単位	10 単位	10 単位
選択	必修科目以外の総単位数 (b)	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
合計単位数 (a) + (b)		60 単位	50 単位	40 単位	40 単位	30 単位	20 単位
必要な実務経験の年数 (試験時)		0 年					
必要な実務経験の年数 (登録時)		2 年	3 年	4 年	0 年	1 年	2 年

4. 証明書の発行

卒業後、別表1の科目の修得状況を示した「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を依頼に応じて発行します。

発行手数料 一通：200 円

5. 建築士の情報

建築士ならびに建築士試験受験に関するその他最新の情報は下記の機関より発表されていますので、公式ウェブサイトを参照してください。

公益財団法人 建築技術教育普及センター <http://www.jaic.or.jp/>

